

バラのシュート処理

5月から6月頃になるとバラの根元から太くて強い赤い枝が伸びてきます。

これを、シュートと言います。

シュートとは、その年の秋や来年の主幹枝になって花を咲かせる大切な枝です。



シュートの処理

シュートをそのまま伸ばすと

先のほうがホウキ状に広がって来ます。

そのままでは、小さな花が咲くだけで成長も止まります。

先の方を摘み取って枝を段階的に伸ばして行きます。

枝から、赤味が抜けて緑色になってきたら

1番下の5枚葉で切ります

(品種に寄ってシュートの伸び方や5枚葉の位置はちがいます。)



気をつけて！！

シュートは赤味のあるうちは、柔らかく、弱いです。

強い風が吹いただけで、株元から裂けてしまいます。

先のほうがホウキ状に広がって、赤味が抜けるまでは

支柱を立てて、出来るだけ倒れない様にします。

シュートを切る時期は、先端がホウキ状に広がってから

その後は、枝から赤味が抜けてからが良いです。

シュートは切り口からの蒸散(水抜け)が激しく切り口から枯れ込んでくる事があるので

5枚葉で、剪定するのは、日差しの弱くなる6月が良いです。

シュート処理には、色々な方法があります。

品種にあったシュート処理が大切です。

